

NIH、医療系教育機関 11 校を疼痛教育のセンター・オブ・エクセレンスに選定 (5 月 21 日)

NIH の疼痛コンソーシアム (National Institutes of Health Pain Consortium) は、ペンシルバニア大学大学院医学研究科、ハーバード大学歯学部、トーマス・ジェファーソン大学医学部を含む、医科・歯科・看護・薬科大学 11 校を「疼痛教育センター・オブ・エクセレンス (Centers of Excellence in Pain Education : CoEPEs)」に指定した。

現在、およそ 1 億人の米国民が何らかの慢性的な痛みで悩まされており、その治療コストは 6,350 億ドルに上るとされているが、疼痛治療教育は医療系教育機関において広範に取り入れられているとはいえ、臨床アプローチにもばらつきが見られるという。

また、モルヒネをはじめ医療用麻薬として知られるオピオイド系鎮痛剤は、これまで多くの患者を痛みから解放してきた反面、薬物依存など有害な結果をもたらす可能性もあり、誤用や過剰投与といった課題も存在する。

今後、11 カ所の CoEPEs では、様々な痛みの症状に対するより適切な判断及び診断、そしてオピオイドの誤用を最小限に留めながら安全な治療を進めるための、疼痛管理カリキュラムの開発・評価・発信拠点としての取り組みが行われることになる。

National Institutes of Health, NIH selects 11 Centers of Excellence in Pain Education

<http://www.nih.gov/news/health/may2012/nih-21.htm>